



第145期 中間報告書

2024年4月1日 ▶ 2024年9月30日

株主の皆様へ

平素より格別のご支援、ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社は2024年9月30日をもって第145期中間期(2024年4月1日から2024年9月30日まで)を終了いたしましたのでその営業の概況をご報告申し上げます。

2024年12月



代表取締役社長

狩野 聖太郎

当中間会計期間におけるわが国経済は、雇用及び所得環境の改善が進み、景気は緩やかな回復となりました。一方、物価高の継続により、原材料、エネルギー価格の上昇、また、円安が再び加速するなど、依然として出口が見えない状況が続いております。

当社の関連するコンクリート製品業界においては、民間需要は引続き都心部での再開発事業、郊外においては物流倉庫・工場の建設等に動きがあり、土木案件では国土強靱化計画の推進により、災害対策の工事は堅調に推移しております。しかしながら、原材料高騰による原価上昇などにより採算管理は厳しい状況が続き、選別受注が一層難しい環境になりました。

このような状況の中、当社は原価低減活動に継続的に取り組む一方、受注に繋げる設計織込活動、工期短縮に資するプレキャスト化の提案に、CIM(3D空間モデル、3Dプリンターモデル等のデジタル技術)を積極的に活用した受注活動を、販売・設計部門が一体となり行いました。

こうして取り組んでまいりました結果、当中間会計期間は、売上高は32億8千8百万円と前年同期比0.9%の増収となり、損益面では、営業利益は3億4千8百万円と前年同期比45.4%の増益、経常利益は4億3百万円と前年同期比36.7%の増益となりました。

これに、特別損失として固定資産除却損3百万円を計上し、税金費用等1億2千万円を差し引きした結果、中間純利益は2億7千9百万円と前年同期比21.9%の増益となりました。

今後の見通し

2024年度の日本経済は、賃上げの浸透による個人消費の回復から、景気は緩やかな持ち直しが期待されますが、物価高への懸念、天候不順などによって支出が抑制されるなど、先行き不透明感が依然として漂う状況にあります。

こうした中、当社は、販売・設計・生産の各部門が一体となり、期初業績予想の達成はもとより、受注獲得、品質及び採算管理の徹底に取り組む、更なる収益向上に努めてまいります。

株主の皆様には、今後とも当社にご支援とご指導を心よりお願いする次第であります。

売上高

(単位:百万円)

■ 通期 ■ 中間期



経常利益

(単位:百万円)

■ 通期 ■ 中間期



純利益

(単位:百万円)

■ 通期 ■ 中間期



総資産/純資産

(単位:百万円)

■ 純資産 ■ 総資産



部門別の内容

■ コンクリート関連事業

3,267百万円 99.3%

■ コンクリート二次製品部門

2,252百万円 68.5%

■ 工事部門

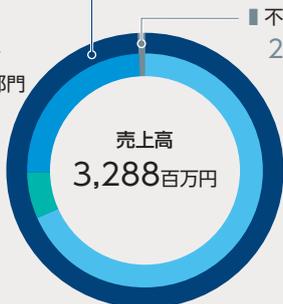
205百万円 6.2%

■ その他の部門

808百万円 24.6%

■ 不動産事業

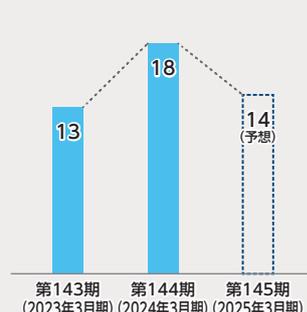
21百万円 0.7%



1株当たり配当金

(単位:円)

■ 期末



売上高経常利益率

中期経営計画 (23.4~28.3)

初年度目標 6.7% 第144期 実績6.6%

(ご参考) 経営指標の推移 (単位:%)

● 自己資本当期純利益率(ROE)
● 総資産経常利益率(ROA)



2023年11月14日に創立100周年を迎え、2024年3月期の期末配当18円は、1株当たり13円の普通配当に加え、5円の創立100周年記念配当を実施いたしました。

